

次号予告

特集 実装における計算技術—アルゴリズムと数理の現実場面での活躍—

システム開発者からのアルゴリズムへの期待...山本 剛 ((株)富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ)
実際の数理最適化問題を瞬時に解くための実装技術.....久保幹雄 (海洋大学)
あみだくじ教え上げ問題に対する高速解法.....田中勇真 (成蹊大学)
計算機のメモリ階層構造を考慮した実装手法
.....安井雄一郎・藤澤克樹 (九州大学マス・フォア・インダストリ研究所)
プログラミングコンテストの経験と図形の充填問題の研究.....今道貴司 (IBM Research-Brazil)
アルゴリズム実装を教える.....梅谷俊治 (大阪大学)

メンバーリストに登録しよう

本学会のメンバーリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。OR学会の活動に特に関心のある方ならば、誰でも登録できます。登録方法については、<http://www.orsoj.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●特集「データサイエンティスト」、お楽しみいただきましたか。身の回りをよくよく見渡してみると、「データサイエンティスト」と呼べるあるいは呼べるような研究者やビジネスパーソンに囲まれた環境で毎日を送っていると再認識された方も多いのではないのでしょうか。「データサイエンティスト」は日本OR学会にとっても身近な存在です。実際、学会はそのような人財を輩出する重要な基盤を提供してきたと思います。また、これからもそのような人財を育成する役割を学会は担い続けるのだと思います。

●「データサイエンティスト」は、6月に開催された「2014FIFAワールドカップブラジル」に関連するニュースでも大きく取り上げられ注目を集めました。試合は試合終了で終わりとなりますが、データサイエンティストは試合が始まる前から、データ収集を開始

し、定量的な分析を通して、戦略や戦術の評価を行い、次につながる興味深い分析結果を次々と公表していました。最も有名な例は、優勝したドイツに関するもので、ワールドカップ開催の数年前から、出場国の戦略・戦術を定量的に分析する「データサイエンティスト」集団からなる分析チームが存在していたというものです。ドイツは優勝するべくして優勝したといえるのかもしれませんが。

●サッカーに限らず、スポーツはデータの宝庫と言われています。来る「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」では、日本OR学会や日本を代表するデータサイエンティストが大会運営ばかりでなく、日本代表の戦略や戦術の立案に大きく貢献するのではないかと期待が膨らみます。楽しみですね。

(猿渡康文)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 池上敦子 (成蹊大学)
委員 池辺淑子 (東京理科大学), 石井儀光 ((独)建築研究所), 鶴飼孝盛 (中央大学), 小林隆史 (東京工業大学), 坂本英夫 ((株)東芝), 佐久間 大 (防衛大学), 笹谷俊徳 (東京ガス(株)), 猿渡康文 (筑波大学), 高野祐一 (専修大学), 武内陽子 (公益財団法人 鉄道総合技術研究所), 中原孝信 (専修大学), 生田目 崇 (中央大学), 原田耕平 (NTTデータ数理解システム), 松井知己 (東京工業大学), 宮代隆平 (東京農工大学), 矢野夏子 ((株)構造計画研究所), 吉住貫幸 (日本アイ・ビー・エム(株))

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成26年9月号 第59巻 第9号 通巻645号

代表者 大宮 英明

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 池上 敦子

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社 (Tel 03-3546-1337) へ。